

たくさんの方々に喜んでもらえる ものづくりを目指す。

國本 翼沙
営業アシスタント



もっと生の声

Q & A

—— やりがいを感じるときは、どんな時ですか？

生地から製品になるまでのすべての工程に携われることです。他部署や先輩方、また取引先と交流する中で、日々学ぶことが多く、やりがいを感じます。

—— 今後挑戦してみたいことはありますか？

自分たちで企画したものを自社ブランドとして商品化して、たくさんの方々に喜んで使ってもらえるものづくりに取り組んでみたいです。

—— 将来繊維業界に従事する人へのメッセージをください。

実は、同期入社5人のうち2人が、昨年度のファッションフロンティアをきっかけに今の会社を選びました。コロナの影響で現在ファッション業界は難航していますが、新たなことに挑戦できるチャンスではないかと思います。自分を信じて志を持って頑張ってください。

「小さい頃からデザインをすることが好きで、将来自分で企画してものづくりをしてみたいとの思いでこの道に進みました。」という國本さん。デザインしたものを更に形にするために高校、専門学校で服飾を学びました。そして、コロナウイルス感染症が流行する不安な状況の中での入社となりました。入社後、最初に担当した仕事は県内の事業者とのオリジナルマスクの共同開発でした。社長と新入社員で企画し、3万枚を出荷したそうです。「主に出荷作業に携わり、納期に追われ大変でしたが、その分不安を感じる余裕はなかったですね。」

現在は、営業リーダーのもとで仕様書の作成やお客様とのやり取り、出荷業務などを担当しています。2021年AWに向けたサンプル作りにも取りかかっています。「企画会議では、私たち新人でも案を出し合うことができ、とても有り難い環境だなと感じています。」

